

各 位

会 社 名 株式会社環境管理センター
 代表者名 代表取締役社長 水落 憲吾
 (コード番号 4657)
 問合せ先 経営企画室長 浜島直人
 電 話 042-586-6565 (直通)

業績予想の修正、特別損失の計上及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成 24 年 3 月期 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日) の業績について、平成 23 年 10 月 28 日に公表した業績予想を修正するとともに、特別損失を計上いたします。

また、配当予想についても下記のとおり修正いたしますので併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 24 年 3 月期通期業績予想の修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A) (平成 23 年 10 月 28 日公表)	3,600	100	40	30	7円13銭
今回修正予想 (B)	3,451	△125	△173	△189	△44円94銭
増減額 (B-A)	△149	△225	△213	△219	—
増減率 (%)	△4.1%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 平成 23 年 3 月期	3,470	43	△13	△20	△4円86銭

修正の理由

平成 23 年 10 月 28 日時点において、下期 (10 月～3 月) の受注環境が民間分野での環境調査需要の不透明感が継続する見込みがあるものの、国・地方自治体からの東日本大震災と原発事故による災害復旧関連の調査業務の予算執行が 1 月には立ち上がる予測にもとづき、通期売上高を 36 億円に修正しました。

また売上高減少に伴い経費削減が見込まれることから、利益については当初計画どおりと予想いたしました。

その結果として、第 4 四半期 (平成 24 年 1 月～3 月) には、国・地方自治体による災害廃棄物処理や放射能除染事業が本格的に動き出し、当社は環境省が発注元となる除染事業に伴う事前環境調査を民間企業他社とともに受注いたしました。しかし予定した事業開始時期に大幅変更があり、平成 24 年 4 月から開始となったことから当事業年度中の売上高への寄与には至りませんでした。

当事業年度の受注高は 38 億 82 百万円 (前年同期比 3 億 18 百万円、9.0%増加) となりましたが、売上高は前回予想から 1 億 49 百万円減少し、34 億 51 百万円になる見込みです。その結果、翌事業年度に繰り越す受注残高は 10 億円になり、期首に比べて 4 億 30 百万円増加いたします。

利益面につきましては、外注費等の営業費用が前回予想より 75 百万円増加したことから営業損失 1 億 25 百万円（前回予想は営業利益 1 億円）、経常損失 1 億 73 百万円（同、経常利益 40 百万円）、当期純損失 1 億 89 百万円（同、当期純利益 30 百万円）になる見込みです。

2. 特別損失の計上について

当社は、固定費削減及び営業部門の生産性向上を目的として、本社を八王子市に移転するとともに営業部門を新たに開設する神田オフィス（賃借）に移転する予定であり、これに伴う費用 7 百万円を移転費用引当金繰入額（特別損失）に計上いたします。

3. 配当予想の修正について

	1 株当たり配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
前回予想 (平成 23 年 5 月 16 日公表)	—	0 円 0 0 銭	—	3 円 0 0 銭	3 円 0 0 銭
今回修正予想	—	—	—	0 円 0 0 銭	0 円 0 0 銭
当期実績	—	0 円 0 0 銭	—	—	—
前期実績 平成 23 年 3 月期	—	0 円 0 0 銭	—	3 円 0 0 銭	3 円 0 0 銭

修正の理由

当期は「1. 業績予想の修正について」に記載のとおり、当期純損失 1 億 89 百万円（1 株当たり当期純損失 44 円 94 銭）となる見込みです。当期の配当については、繰越利益剰余金がマイナスとなることから、誠に遺憾ではありますが、当初予定しておりました配当予想を無配（0 円 0 0 銭）に変更させていただきたく存じます。

以上

（注）上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後の多様な要因によって予想数値と異なる結果になる可能性があります。